

# 「アカモズアクションプラン(石狩市生物多様性地域戦略の個別行動計画)の策定について」に寄せられた意見と検討結果

【パブリックコメント実施期間】 令和7年4月1日(火)から令和7年4月30日(水)まで

【担当部局】 環境市民部自然保護課

【意見提出者】 5人

【意見件数】 19件

【意見への対応】	採用	: 意見に基づき原案を修正するもの	7件
	一部採用	: 意見に基づき原案を一部修正するもの	0件
	不採用	: 意見を原案に反映しないもの	0件
	記載済	: 既に原案に盛り込まれているもの	0件
	参考	: 原案に盛り込めないが今後参考とするもの	0件
	その他	: ご質問・ご意見として伺うもの	12件

【意見の検討経過】 令和7年5月1日～令和7年5月23日 当課及び関係部局において意見の検討及び検討結果(案)の作成  
令和7年5月30日 広聴・市民生活課に合議のうえ、市長決裁にて最終決定

「いしかり生きものかけはしビジョン(石狩市生物多様性地域戦略)の策定について」に寄せられた意見と検討結果

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
1	<p>P6 3.2 「地域住民による見守り」を実践中です。</p> <p>本町地区の第1第3(第2は消滅)町内会総会で、アカモズについて石狩市の取り組みを紹介しました。地元住民にとって当たり前の自然が、実は希少で素晴らしいということを周知していただきました。ほとんどの住民は自然自体には興味がなく、初めて聞くアカモズに興味を持っていただきました。</p> <p>昨年から、八幡神社～カフェマウニの丘間の道のマウニの丘の入り口に立つログハウスに事務所を構え、屋号をノビタキ家とし、石狩浜砂丘自然草原ネーチャーガイドを民間で始めました。市で発行の注意喚起のチラシをカメラマンに渡し話を聞いてもらっています。ノビタキ家では、今後もネーチャーガイドで石狩浜の希少生物の中の一つとして、アカモズの情報を周知してもらうように活動していきます。</p> <p>また、アカモズを守る市民の会を企画検討中ですが、賛同者集めに奮闘中です。</p>	その他	ご意見として承ります。
2	<p>環境課の皆さんの一生懸命さはとても伝わってきます。ただ、いつも感じるのは「環境課だけでなく、全体で石狩市の環境を守っていこう、もっと良くしていこう」としているのかということです。</p> <p>アカモズの生息地が私の中では特定されませんが、消防署から石狩中学校その先の柏林が、伐採されてしまった地区の環境がひどいもので、石狩中があるのに新幹線残土が積み上がり、教育環境とは思えないひどい環境です。この環境で育つ子供たちに、アカモズの生息環境の貴重性や重要性について理解を深めて、繁殖敵地の拡大につなげていくことは、もちろん大切なことですが、</p>	その他	ご意見として承ります。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	<p>アカモズと一緒に子供たちの教育環境をよくすることを、石狩市全体で共有していただきたいです。</p> <p>また、石狩市で風車が増えていった時期と、アカモズの減少の関係を調べる必要があります。今後も増えていく大型・小型風車について、環境課として強く意見を言っていかなければ、石狩の環境を守ることは無理なことです。</p>		
3	<p>市民が回覧板や公共施設で「いしかり生きもの便り」の情報を目にし、石狩市の自然を知り、次世代に引き継いでいく行動は、大切なことと感じます。</p> <p>今回の（案）も良く考えられていると思います。ただ、回覧板や公共施設で「いしかり生きもの便り」の情報を目にするだけでは、貴重さ・脅威・大きさや生態を実感するのは、難しいことではないかと感じています。</p>	その他	<p>「いしかり生き物かけはし座談会」や WEB コンテンツの開発など、子どもたちをはじめ、次世代を担う方たちが興味を持つような仕組みづくりの整備を進めて参ります。</p>
4	<p>子供をはじめ多くの市民に解り易い学習会や、フィールドワークを企画しては如何でしょうか。石狩市には長年にわたり石狩市の自然を観察し、保護活動をしている団体もあります。毎年、石狩浜で野鳥観察会を実施しデータを持っている、自然環境にも詳しい「野鳥の会札幌支部」という団体もあります。</p> <p>このような団体に自然保護課主催で、市民向けの学習会やフィールドワークを委託しては如何でしょうか。</p> <p><u>* 動物・鳥類・昆虫・植物・自然環境などの解り易い学習会や、フィールドワーク</u>石狩市の自然環境を保全するための重要なアクションです。経験豊かな方達に知識や知恵を（時間も）提供して頂くのですから、その折には市からは有償委託をお願いするべきと思います。</p>	その他	<p>ご意見として承ります。</p>

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
5	モニタリング結果を、市民が読み込むのは大変なことと感じています。市民が石狩の貴重な自然や素晴らしさを実感することで、豊かな心と自然保護に繋がっていくのではないのでしょうか。	その他	No3 の検討内容を参照下さい。
6	P12 上から 6 行目 「○関連事業：石狩浜アカモズ連絡会議」とあるが、具体的な説明をして欲しい。関係主体が参加する会議と思われるが、「関係主体」が誰なのか、構成員を差し障りのない範囲で、もう少し具体的に記載できないでしょうか。開催頻度の記載もあった方が良くと思います。	採用	P11 「4-4-1 関係主体・管理者との連携」に、下記内容を追記します。 【追記内容】 本市のアカモズの生息に関する有識者をはじめ、環境省や北海道、札幌市など関係者が参加する連絡会議。
7	P13 真ん中あたりに「○関連事業：アカモズの郷-自然環境再生事業-」とあるが、これも何のことか理解しかねます。もう少し具体的な記載があっても良いのではないのでしょうか。	採用	P13 「4-4-3 繁殖適地の拡大」に、下記内容を追記します。 【追記内容】 令和6年度現在、アカモズの繁殖が確認されている場所の周辺市有地を活用し、自然再生を踏まえた繁殖適地の拡大等を検討する事業。令和7年度より実施予定。
8	P13 最後の方に、「市民による地域の自然環境や保全に対する意識の醸成が必要となる。」の文章が気になりました。意味としては石狩市が市民に対して、地域の自然環境や保全に対する意識を持つようになることだと思います。しかし「市民による」とあるので、例えば、市民団体が他の市民に対して、意識の醸成をはかる活動を行うという意味にもとれなくも無いと思ってしまいました。深読みしすぎかもしれませんが、表現を工夫した方が良いのではと思いました。	採用	P13 「4-5-1 アカモズの希少性と生息・繁殖地の普及啓発」の本文3行目「市民による」を削除します。 【修正内容】 来訪者の巣への接近や私有地への立ち入り、開発による直接的な繁殖阻害を防止するためにも、地域の自然環境や保全に対する意識の醸成が必要となる。
9	P8 「3-5 推進体制」のところ「上位計画と同様に進めます。」とあります。上位計画とあるので「いしかり生き物かけはし戦略」のP38「6章 推進体制」に記載されている内容と同じだと理解されます。わざわざ「いしかり生き物かけはし戦略」を開かなければ確認できないのは不便だと感じます。簡単な記載で良いので、	採用	P8 「3-5 推進体制」に、詳細を記載します。 【修正内容】 推進体制については、図 3-2 のとおりです。アクションプランの進行管理については、上位計画と同様に目標や成果指標の状況等を検証・評価し、PDCA サイクルにより管理をします。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	書いてはいかがでしょうか。		
10	アカモズの保全については、自然に関わる自然団体として大変気にしている事案です。「石狩浜アカモズ連絡会議」が、どのような組織かが分からないのですが、調査・モニタリングを誰が行い、どのような専門家と関わって、どの程度の頻度で検討会を行っているのか、どの程度、きちんとなされているか知りたい情報です。	その他	No6 の検討内容を参照下さい。
11	<p>「地域住民による見守り」という言葉が出てきておりますが、本町地区に在住している会員は大いに気にかけており、自発的にアカモズのチラシ配布を行っていると聞いています。</p> <p>シマフクロウの研究者は、多くの人にシマフクロウの生態を知ってもらい、保護・保全に関わる意識醸成は必要と語っており、コンサドーレのマスコットキャラクターであることなどを活用して、啓発活動をしているとのことでした。</p> <p>アカモズについても、徹底的に認知を広める活動が必要なのだろうと思っているところです。</p> <p>今後の実効性ある実践を、いかに行っていくかが問われると思います。当会としては、とりあえず見守っていきますが、本町在住会員と情報交換し、気にかけていくつもりです。</p>	その他	ご意見として承ります。
12	<p>石狩市に生息する国内希少野生動物種であるアカモズ保全に、自然保護課だけでなく、石狩市は全市を挙げて取り組んでほしいと思います。特に、土地の改変や建築の許可をする部署との連携を十分に行ってください。</p> <p>また、生物多様性の保全の観点から、石狩市教育委員会にも、このアカモズの保全について専門家と十分に検討しながら、教育現場への導入に力を発揮してほしいと思っています。</p>	その他	ご意見として承ります。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
13	上位計画の「いしかり生きものかけはし戦略」（令和6年11月策定）、「石狩市環境基本計画」、また「石狩浜アクションプラン」（令和7年1月策定）などを含めて、環境関連の関係図を示してください。	採用	P5 「3-1 目的及び位置づけ」に、関係図を記載します。
14	上位計画である「いしかり生き物かけはし戦略」では、海域（石狩湾）が含まれることと隣接する市町村等との連携がうたわれています。「アカモズアクションプラン」において小樽市との連携はどのようになっていますか？	その他	P8 「3-5 推進体制」のとおり、アカモズの保全に関しては、札幌市と連携しております。 将来的には、必要に応じて近隣自治体との連携を検討してまいります。
15	P1 1-2 石狩市での生物多様性の保全の取り組みで、石狩市域しか語られていません。渡り鳥には市町村の境界は関係ないと思います。 小樽市銭函4丁目5丁目は、かつては「石狩町」でした。当時の石狩町が石狩湾を建設するために小樽市に割譲した石狩海岸の半分です。すでに砂丘上に風車10基（リエネ銭函風力発電所）が建っていますが、海岸防風林は健在で、草原も散見されます。風車の寿命は建設から20年と言われ、そのあとはどうなるかわかりません。かつては、アカモズの生息の記録もあったところです。30年後、40年後にはアカモズが戻ってくるかもしれません。	その他	P5 「3-2（2）対象区域」のとおり、本プランの対象区域は、石狩市域でアカモズが生息している地域及びその周辺としております。
16	石狩市域の株式会社市民風力発電（北海道グリーンファンド系）では、すでにオジロワシのバードストライクが2件（2005年12月かりんぷう、2019年3月コミュニティウインドファーム6号機）発生しています。 バードストライクだけでなく、鳥の生活環境が重要で、貴重なことは声を大にして、何度も何度も事業者伝えてください。	その他	ご意見として承ります。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
17	<p>「札幌連携中枢都市圏ビジョン」に小樽市との連携が含まれている、ということでしょうか？</p>	採用	<p>P14 「4-5-2 市内外へ向けた普及啓発」の本文3行目「さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン」は、「生物多様性さっぽろビジョン」の誤りのため修正します。</p> <p>近隣自治体との連携については、No14 の検討内容を参照下さい。</p>
18	<p>P8 3-5 推進体制</p> <p>図 3-1 アカモズ保全に係わる組織図の文字が小さいので、もう少し大きくして読みやすくしてください。</p>	採用	修正します。
19	<p>繁殖が確認されている土地の海岸防風林の樹木が伐採され、心を痛めています。伐採され、大型の機械で整地をしていて、風で飛ばされた砂が私の目に入りました。涙がこぼれました。</p> <p>鳥の音が、シャワーのように降り注ぐ自然豊かな石狩に、新幹線建設のための残土だとか、太陽光発電のパネル、大型・小型の風車がいつの間にか数多く建ってしまいました。</p> <p>「地球環境の保全のため」と標榜して発電施設は建設されますが、アカモズが繁殖する石狩市は、大変貴重なことで、アカモズが生息する環境は極めて重要なことであることを、石狩市は市を挙げて、事業者になんどもなんども伝えてください。</p>	その他	ご意見として承ります。